



ごあいさつ

このたび、甲子園テニスクラブは、皆様からの長年にわたる温かいご支援とご愛顧のおかげをもちまして、開場100周年という記念すべき節目を迎えることができました。この貴重な100周年という年に、いつも支えていただいている皆様方とともに歴史の1ページを刻むことができますこと、支配人としてこの上ない喜びと誇りを感じております。

大正15年(1926年)5月5日、甲子園野球場の西隣に庭球場として、9面のテニスコート(クレーコート)と4000人を収容する木造センターコート1面およびクラブハウスが、阪神電気鉄道株式会社により設立され、昭和3年(1928年)2月に「甲子園ローンテニス俱楽部」が誕生しました。

ここにめでたく開場100周年を迎えることができましたのも、当クラブを愛し、育てて頂いた現会員・先輩会員、又、他俱楽部・テニス協会をはじめとする関係各位のご支援の賜物であり、ここに深く感謝申し上げます。

この100年を顧みますと、昭和15年(1940年)に世界一のコート面数102面が完成し、同年にはセンターコートで国際親善試合が開催され、オープン当初から毎日オープンテニス選手権大会や関西オープンテニス選手権大会の会場となるなど、まさしく黄金時代の到来といえるものでした。一方で昭和19年(1944年)には、第二次世界大戦の影響により閉鎖を余儀なくされましたが、戦後の昭和22年(1947年)には再開されました。また、平成7年(1995年)には阪神淡路大震災の発生により一時的に営業休止となりましたが、約半年間で営業再開にこぎつけることができました。さらに令和2年(2020年)4月には新型コロナウイルスの蔓延により緊急事態宣言の発令に伴う営業休止を余儀なくされたが、6月に感染対策を行ったうえで営業再開いたしました。このように閉鎖や営業休止という苦しい時期も乗り越えながら今日まで歩みを続けてくることができました。

改めましてこの100年の長きにわたり、クラブの発展に尽力された歴代の役員・支配人の皆様、スタッフの皆様、そして何よりも、クラブを愛し、テニスを楽しみ、共に汗を流してこられた会員の皆様、OB・OGの皆様、近隣住民の皆様へ心より厚く御礼申し上げます。皆様お一人おひとりの存在が、クラブの確かな礎となり、今日の甲子園テニスクラブを形作ってまいりました。

私たちはこの100周年を、過去を振り返り感謝すると同時に、未来への新たな一步を踏み出す大切な機会と捉えております。テニスの魅力をより多くの方々に伝え、技術の向上だけでなく、健康維持、人間形成、そして地域コミュニティの活性化に貢献できるよう、これからも弛まぬ努力を続けてまいります。

今後とも、甲子園テニスクラブへの変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

甲子園テニスクラブ 支配人

菅藤 浩希

開場100周年に寄せて

甲子園テニスクラブは、今年の5月5日で開場100周年を迎えます。会員を代表して、この節目に心からお祝い申し上げます。

長い歴史の中で、多くの方々がこのクラブを支え、テニスを通じてたくさんの出会いや思い出が生まれてきました。また、全日本チャンピオンやデビスカップの代表選手をはじめ、様々な試合・大会で活躍するプレーヤーも数多く生み出してきました。

そのような伝統と格式のある名門テニスクラブで、私たちが今まで同じ場所でプレーできていることに、改めて感謝の気持ちが湧いてきます。

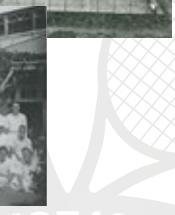
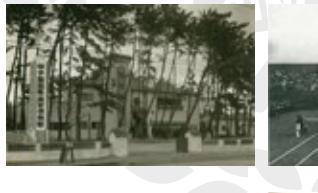
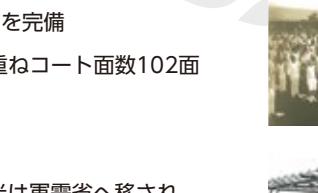
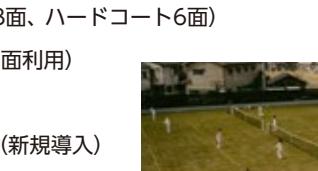
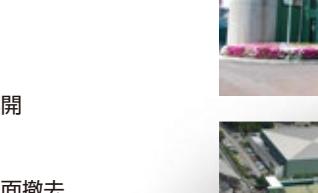
これからも、仲間とともにクラブを盛り上げながら、次の100年へ向けて歩んでいかなければと思っています。

今後とも明るく楽しく健康的なテニスライフが過ごせますように、みんなで盛り上げて参りましょう！

甲子園テニスクラブ 会長

井上 和男

甲子園テニスクラブの歴史

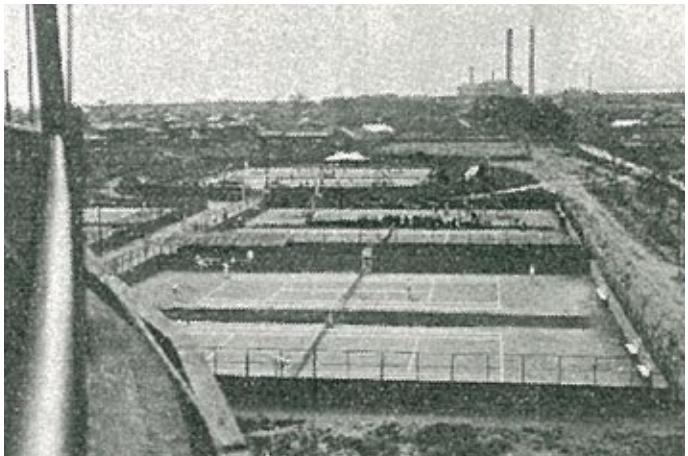
大正15年 (1926年)	庭球場新設	
5月5日	甲子園球場西側に木造センタークート、 硬式テニス用コート9面設置	
昭和3年 (1928年)	甲子園ローンテニス倶楽部創設	
2月		
昭和4年 (1929年)	甲子園球場南側に17面新設	
昭和6年 (1931年)	甲子園球場南側にコート10面新設、 甲子園九番町にコート21面新設、 コート面数57面	
昭和12年 (1937年)	甲子園国際庭球倶楽部結成	
10月	1万人の座席をもつ庭球コートや、庭球会館、庭球寮などを完備	
	国際試合等開催により庭球人口も増加、コートの増設を重ねコート面数102面 (昭和15年 (1940年) に完成)	
	甲子園国際庭球倶楽部解散	
昭和19年 (1944年)	庭球会館は川西航空へ、世界に誇った100面コートの大半は軍需省へ移され、 ついには終戦9日前の8月6日、甲子園球場付近が空襲され、川西航空機工場、 旧クラブハウスの軍需輸送隊本部などが焼失。	
8月		
昭和22年 (1947年)	甲子園テニスクラブに名称変更、現在の場所で営業	
	コート面数12面 (クレーコート10面、アンツーカーコート2面)	
昭和49年 (1974年)	甲子園大プール跡地にコート6面新設 (ハードコート) 、 大プール跡地西側に1面新設 (アンツーカーコート) 、 コート面数19面 (クレーコート10面、アンツーカーコート3面、ハードコート6面)	
4月		
昭和57年 (1982年)	甲子園テニススクール営業 (甲子園大プール跡地コート6面利用) クラブコート面数13面	
10月		
昭和58年 (1983年)	アンツーカーコートからオムニコート (人工芝) へ変更 (新規導入) 現在の8番コート～10番コート	
3月		
昭和59年 (1984年)	クレーコートからオムニコートに変更 (3年計画で10面施工) 昭和61年3月で全コートオムニコート	
3月		
昭和60年 (1985年)	甲子園テニススクール南側にコート3面新設 クラブコート面数16面	
3月		
平成1年 (1989年)	新クラブハウス完成 (現在のクラブハウス)	
11月		
平成7年 (1995年)	阪神淡路大震災の影響により営業を休止、同年8月より再開 終身会員制より1年毎の更新年会員に変更	
1月		
平成15年 (2003年)	阪神タイガース室内練習場建設のため、スクールコート6面撤去 クラブコート面数16面	
6月		
平成16年 (2004年)	甲子園テニススクールインドアコート完成 (既設コート3面利用) クラブコート面数13面	
5月		
平成18年 (2006年)	阪神タイガースクラブハウス建設のため、阪神タイガース室内練習場 南側コート3面撤去、クラブコート面数10面	
5月		

写真で見る100年のあゆみ 1926~

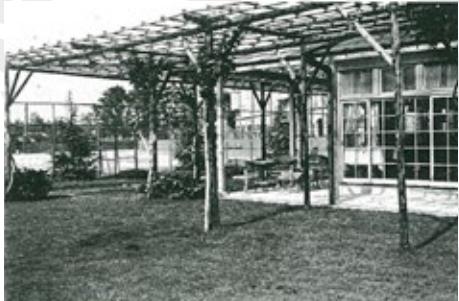
甲子園ローンテニス俱楽部

大正15年阪神甲子園球場の西側にクレーコート9面と4千人を収容する木造スタンドのセンターコートが造られ、昭和3年2月に甲子園ローンテニス俱楽部が誕生しました。

昭和4年10月仏のコーシエ・ブルニヨン・ランドリイ・ロデルの4名が来阪し、日仏対抗戦が行われました。



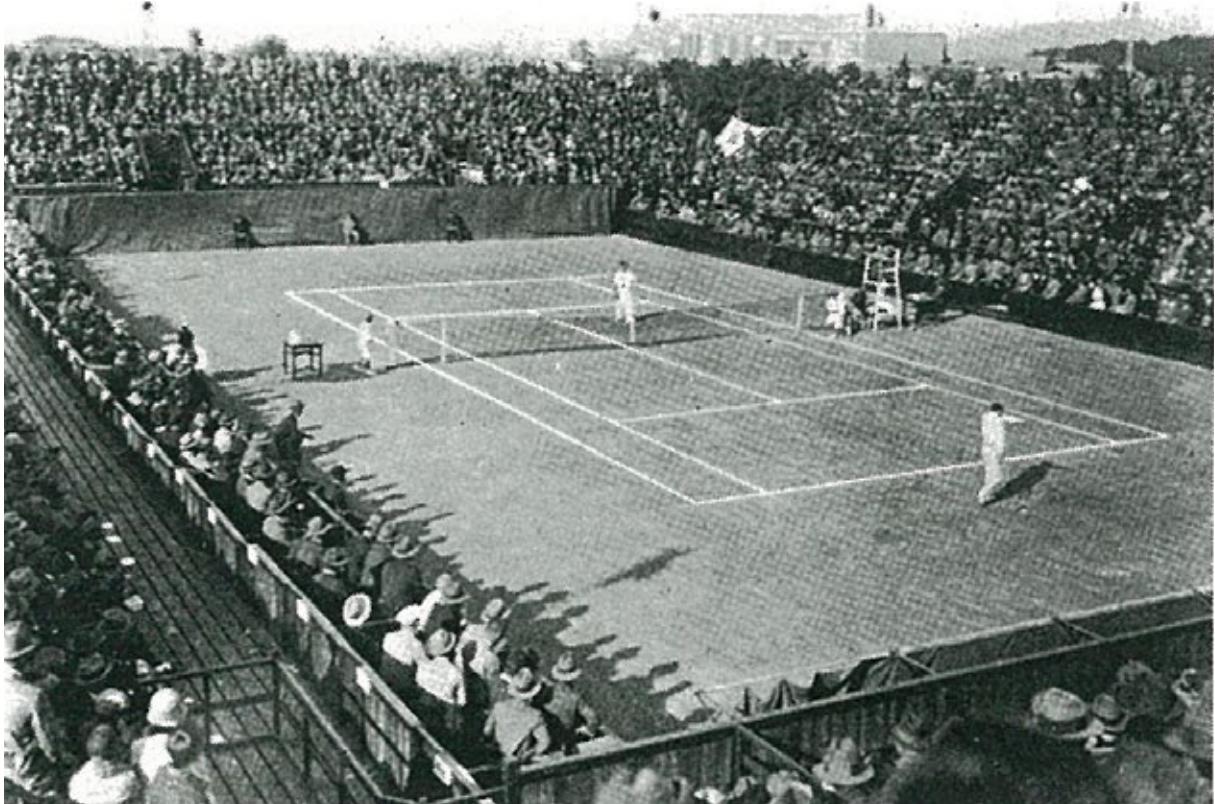
初期のテニスコート



旧クラブハウス



旧クラブハウス前



旧センターコートにおける日仏対抗試合(昭和4年10月)

写真で見る100年のあゆみ 1928~

甲子園国際庭球倶楽部

関西テニス界の偉大な先覚者である片岡氏が昭和3年外遊の後、阪神電鉄に懸命に協力を要請し、1万人収容のセンター コート・庭球会館・庭球寮・コート面数102面を完備した施設が誕生しました。



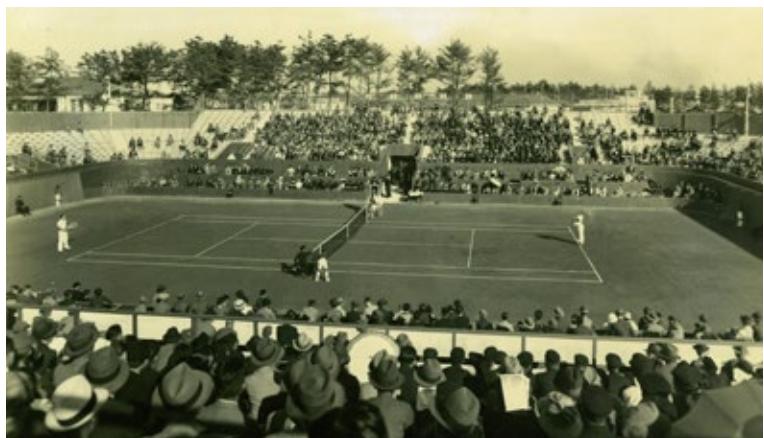
国際庭球倶楽部 会館



初代会長(片岡氏)



新館食堂



国際庭球クラブのセンターコート



庭球寮玄関



コート整備

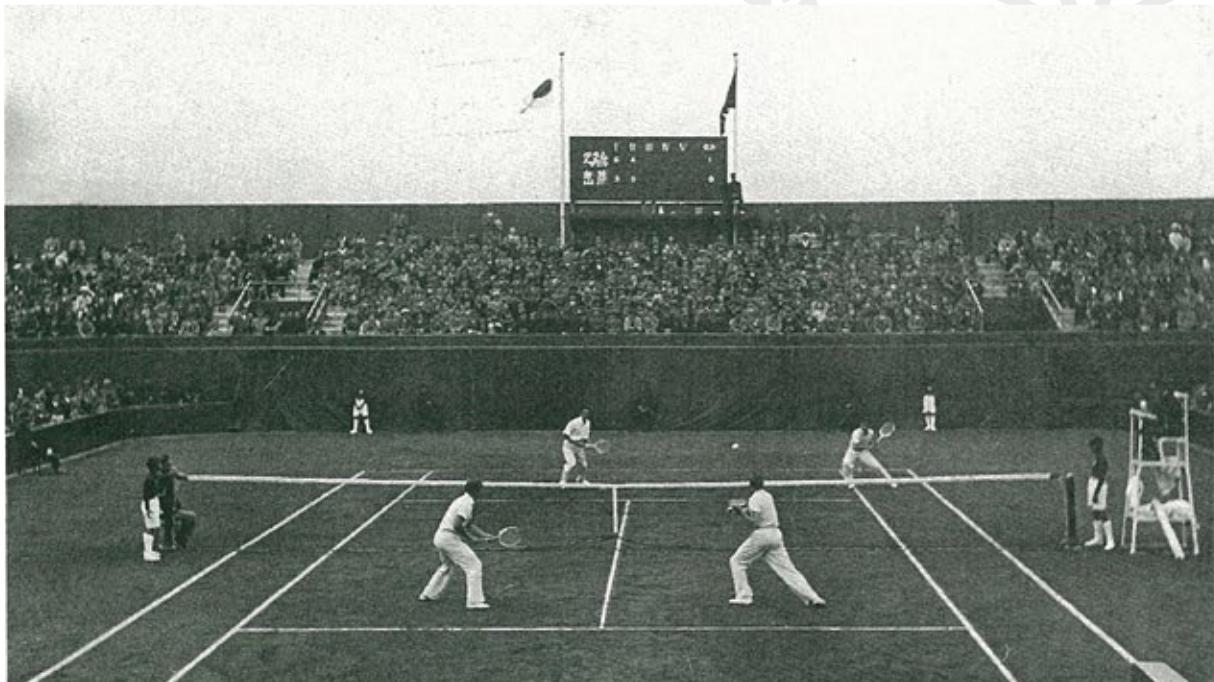


百面コートの一部(昭和15年頃)

写真で見る100年のあゆみ 1937~

日独対抗テニス試合

昭和12年ドイツのクラム・ヘンケルらの各選手が日本選手とエキシビションマッチを行いました。



クラム・ヘンケル対布井・山岸が新装の甲子園スタジアムで対戦



クラム・ヘンケルの来朝

昭和12年わがデ杯選手、山岸、中野両選手と欧米に転戦したドイツのデ杯選手一行4名が大洋丸で横浜に着いた。一行中のクラムは世界ランクの第2位、ヘンケルは第3位、ドイツ女子第14位のホルン嬢とデ杯選手のクラインシュロート博士の4人であった。仏選手来朝以来のことでの、スポーツ外交の意義深いものがあった。

甲子園日独交歓試合。

第1回交歓試合は、10月29日から3日間、新設の甲子園国際庭球倶楽部のセンターコートで行われた。

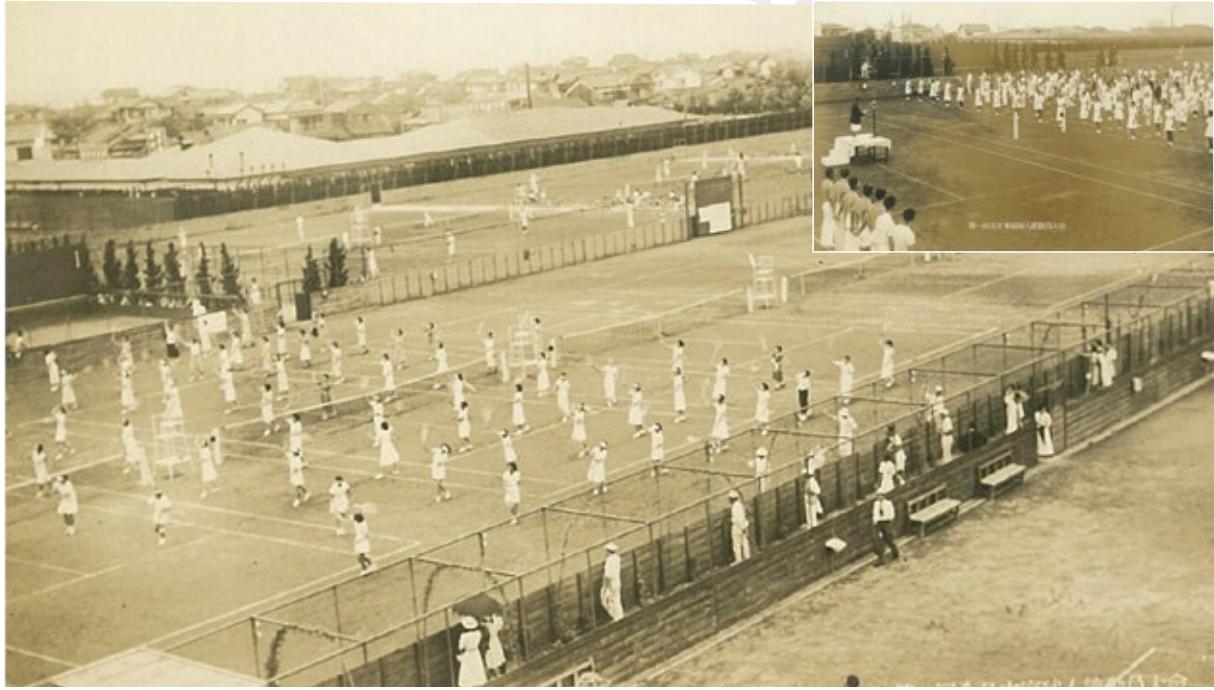
(福田雅之助著「庭球百年」より)



写真で見る100年のあゆみ 1938~

第1回庭球人総動員大会

昭和13年8月27日・28日に開催され、千名を超える参加者がありました。



第1回全日本庭球人総動員大会



甲子園国際庭球倶楽部 センターコート入口

早起庭球会

昭和13年4月から甲子園クラブで早起庭球会を開催した。早朝6時からゲームのテニスを楽しんでから、入浴後15銭の朝食をとり、1時間余り後には会社に勤務することができた。



写真で見る100年のあゆみ 1947~

甲子園テニスクラブ

昭和22年に現在の場所で復活しました。



庭球苑春秋



写真で見る100年のあゆみ 1983~

人工芝（オムニコート）新規導入

昭和58年アンツーカーコート（現在の8～10番コート）からオムニコートに変更。



工事前(アンツーカーコート)



工事の様子



工事前(オムニコート)



写真で見る100年のあゆみ

1986~

第48回全日本ベテランテニス選手権大会

昭和61年9月8日(月)~14日(日)まで開催



現在のクラブ姿
2026

快適なプレー環境とクラブ施設が整っています。



SINCE 1926

100TH ANNIV.

甲子園テニスクラブ
KOSHIE TENNIS CLUB

2026



2026年、甲子園テニスクラブが
100周年を迎えます

甲子園
テニスクラブ

会員募集

入会のお申し込み・お問い合わせは

甲子園テニスクラブ
KOSHIE TENNIS CLUB

☎ 0798-41-0282

〒663-8151 西宮市甲子園洲鳥町5番50号

<https://koshien-tennis.net>



住友ゴムグループ

 DUNLOP

砂入り人工芝の代名詞「オムニコート」の最新作!
業界屈指の高厚み、
高織度を備えた
「オムニコートXPH」が新登場!

「オムニコート」は、ダンロップの住友ゴムグループから
生まれたテニス用砂入り人工芝です。

●DUNLOP契約プロ
(2020年9月現在)

Kevin Anderson (RSA)
ケビン・アンダーソン選手(南アフリカ)

オーストラリアンオープン
公式ボール × オムニコートXPH


Omnicourt-sand-filled artificial turf for tennis courts

<https://omnicourt.jp>

住友ゴム工業は、(公財)日本テニス協会推薦、
また(公財)日本ソフトテニス連盟公認の人工芝メーカーです。

